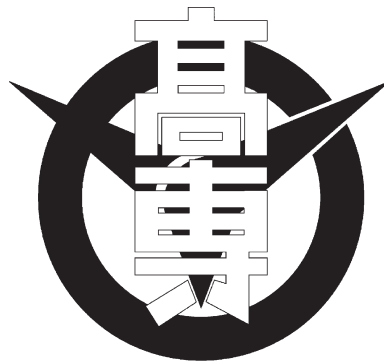


平成23年度

学 生 募 集 要 項
入 学 案 内

(出願書類添付)



独立行政法人国立高等専門学校機構
徳山工業高等専門学校

〒745-8585 山口県周南市学園台

電 話 (0834) 29-6200 (代 表)

29-6232 (学生課)

ホームページアドレス <http://www.tokuyama.ac.jp>

お問い合わせメールアドレス kyoumu@tokuyama.ac.jp

平成23年度 徳山工業高等専門学校学生募集要項

I 選抜の基本方針

入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）は、本校の学習・教育目標（世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす）を達成できる能力をもった学生を入学させることです。具体的には次のような人を求めています。

- ものづくりが好きで、技術を愛する人
- 自ら学ぼうとする意欲のある人
- 信頼される技術者をめざして日々努力できる人

II 募集人員

機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	計
40名	40名	40名	120名

III 選抜の方法・日程

入学者の選抜は、**学力検査によるもの**と、**推薦によるもの**の二つの方法で行います。推薦による入学者数は、各学科とも**20名程度**とします。

日 程

区 分	願 書 受 付 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
学力検査による選抜	平成23年1月20日(木) ～1月28日(金)	平成23年2月20日(日)	平成23年2月25日(金)
推薦による選抜	平成23年1月6日(木) ～1月13日(木)	平成23年1月22日(土)	平成23年2月25日(金) (結果の通知) 平成23年1月27日(木)

IV 学力検査による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

出願資格は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校を卒業した者又は平成23年3月中学校を卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
- (3) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する者）

2. 願 書 受 付

- (1) 受付期間 平成23年1月20日(木)から1月28日(金)までとします。
ただし、土・日曜は除きます。また、郵送の場合も1月28日(金)までに必着とします。
- (2) 受付場所 周南市学園台（〒745-8585）
徳山工業高等専門学校 学生課教務係
- (3) 受付時間 9：00～16：30

3. 出 願 手 続

入学志願者は、次の書類をそろえ、出身中学校長を通じて、本校学生課教務係に提出してください。郵送の場合は、書留にして「入学願書」と朱書してください。

(1) 入学願書	本校所定の用紙に記入してください。
(2) 写 真	上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの（5cm×4.5cm、カラー写真に限る）を入学願書の所定欄に貼付してください。
(3) 入学検定料	16,500円を本校所定の振込用紙を使用して、銀行で払い込み、銀行の収納済印のある「C出願用」の用紙を入学願書の裏面に貼付してください。

- 注：1）出願資格の(2)にあたる者は、履修証明書及び成績証明書を提出してください。
2）受験票送付用封筒は不要です。

4. 出願上の注意事項

- (1) 志望学科は第二志望まで認めます。なお、第二志望は欠員補充を行う際に考慮します。
- (2) 出願後の志望学科の変更は認めません。
- (3) 出願書類に事実と反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すことがあります。
- (4) 受理した書類及び検定料は返還しません。

5. 中学校長による選抜資料の提出

入学志願者の出身中学校長は、選抜の資料として、次の書類を平成23年2月14日(月)までに提出してください。

(1) 調 査 書	本校所定の用紙（学力検査用）に記入してください。
(2) 学習及び行動の記録一覧表	平成23年度公立高等学校入学者選抜実施要領により作成したもの（1校1部）

注) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (5) 同窓会・後援会等の案内

6. 身体に障害を有する入学志願者との事前相談

身体に障害（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）のある入学志願者で、受験及び修学上特別な配慮を希望する者は、出願に先立ち本校学生課へ相談してください。

なお、期限は平成22年12月3日(金)までとします。

7. 入学者選抜方法

(1) 学力検査

イ 検査科目 国語，社会，数学，理科及び英語の5教科とします。

ロ 検査日時

月 日	教 科	時 間
平成23年 2月20日(日)	理 科	9：30～10：20
	英 語	10：40～11：30
	数 学	11：50～12：40
	国 語	13：30～14：20
	社 会	14：40～15：30

ハ 検査場所（下記の5会場で実施します。）

1. 徳山学力検査場：徳山工業高等専門学校
2. 下関学力検査場：下関市豊前田町3-3-1
海峡メッセ下関8F
3. 長門学力検査場：長門市東深川1326-6（物産観光センター2階）
長門市中央公民館
4. 山口学力検査場：山口市神田町1-80
パルトピアやまぐち（防長青年館）
5. 岩国学力検査場：岩国市麻里布町2-6-25
岩国YMCA国際医療福祉専門学校

各受験者の検査室は、学力検査当日検査場毎に掲示します。

※徳山高専以外の検査会場（２～５）は、宇部高専と同一会場で実施します。

また、徳山高専以外の検査会場には駐車場はありません。

(2) 傾斜配点及び選抜について

学力検査の５教科は500点満点ですが、本校では傾斜配点を実施しています。

数学は２倍、国語・英語は1.5倍で700点満点とし、中学校長から提出された調査書を総合して選抜します。

8. 合格者発表

合格者の受験番号を、平成23年２月25日(金)10時に本校校内に掲示します。同時に郵送で出身中学校長を通じて合格者に通知します。電話による問い合わせには応じられません。

ホームページでの掲載について

合格発表日から１週間本校ホームページに掲載します。

アドレス <http://www.tokuyama.ac.jp>

V 推薦による入学者の選抜

1. 出願資格

1-1 一般推薦

推薦入学を志願できる者は、次の各条件に該当する者で、中学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

- (1) 平成23年３月に中学校を卒業見込みの者
- (2) 中学校における２学年及び３学年（１学期と２学期の平均）の９教科の学業成績の総計が５段階評価で72以上の者（９教科の平均が4.0以上）又は５教科（国語、社会、数学、理科、英語）の学業成績の総計が５段階評価で40以上の者（５教科の平均が4.0以上）

1-2 特別活動推薦

特別活動推薦入学を志願できる者は、上記1-1の条件に該当し、且つ、クラブ活動又はその他の活動において、以下のいずれかに該当する優れた成績を収め、基本的に本校においてもクラブ等の活動を続ける意志のある者で、中学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

- (1) 体育系クラブ活動の成績が、団体競技では都道府県大会３位以内、個人競技では都道府県大会８位以内の成績を残した者。ただし、団体競技においては、正選手として活躍した者
- (2) 文化系クラブ活動の成績が都道府県以上の水準の大会において優秀な成績を残した者

- (3) 県選抜メンバーあるいはそれに相当するメンバーに選ばれた者
- (4) 国，地方公共団体，もしくは広く知られた公的な団体が主催する都道府県以上の大会もしくはコンテストにおいて，優秀な成績を残した者

2. 願 書 受 付

- (1) 受付期間 平成23年1月6日(木)から1月13日(木)までとします。
ただし，土・日曜は除きます。また，郵送の場合も1月13日(木)までに必着とします。
- (2) 受付場所 周南市学園台（〒745-8585）
徳山工業高等専門学校 学生課教務係
- (3) 受付時間 9：00～16：30

3. 出 願 手 続

入学志願者は，次の書類をそろえ，出身中学校長を通じて，本校学生課教務係に提出してください。郵送の場合は，書留にして「推薦入学願書」と朱書してください。

(1) 入学願書	本校所定の用紙に記入してください。
(2) 写真票	上半身，無帽，正面向きで出願前3か月以内に撮影したもの（5cm×4.5cm，カラー写真に限る）を写真票の所定欄に貼付してください。
(3) 推薦書	本校所定の用紙により，在籍中学校長が作成したもの
(4) 調査書	本校所定の用紙（推薦入学用）により，在籍中学校長が作成したもの
(5) 入学検定料	16,500円を本校所定の振込用紙を使用して，銀行で払い込み，銀行の収納済印のある「C出願用」の用紙を入学願書の裏面に貼付してください。

特別活動推薦を希望する者は(1)～(5)のほか(6)が必要

(6) 活動記録書	本校所定の用紙により，在籍中学校長が作成したもの
-----------	--------------------------

注：1）入学志願者から提出された入学願書等に記載された個人情報，3頁の注意書きと同様に利用します。

2）受験票送付用封筒は不要です。

4. 出願上の注意事項

- (1) 「推薦による入学者の選抜」の志願者が志望できる学科は一学科のみとします。
ただし，合格とならなかった場合に「学力検査による入学者選抜」の受験を希望する者は，第二志望まで認めます。
- (2) 出願後の志望学科の変更は認めません。

- (3) 出願書類に事実に反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すことがあります。
- (4) 受理した書類及び検定料は返還しません。

5. 身体に障害を有する入学志願者との事前相談

3頁の6.と同様に、出願に先立ち本校学生課へ相談してください。

6. 入学者選抜方法

推薦による入学者の選抜方法は、先に特別活動推薦から行います。

特別活動推薦は、各中学校長から提出された「活動記録書」及び推薦書、調査書、並びに一般面接、適性面接、作文の結果を総合して各学科3名以内を選抜します。

なお、特別活動推薦で選抜されなかった者は一般推薦において再度選考します。

一般推薦選抜は、各中学校長から提出された推薦書、調査書、並びに一般面接、適性面接及び作文の結果を総合して行います。

(1) 適性面接の内容

学 科 名	内 容
機械電気工学科	数学や理科に関連する基礎的なことらについて、基本的な理解や論理的な考え方ができるかどうかを問います。
情報電子工学科	
土木建築工学科	

(2) 作文の内容

与えられたテーマについて、自分の意見を600字程度にまとめてもらいます。

(3) 作文及び面接の日時、場所

月 日	区 分	時 間	場 所
平成23年 1月22日(土)	作 文	A	本 校
		B	
	面 接	A	
		B	

受験者をA（午前）、B（午後）の2グループに分けて面接を行います。集合時刻はA 8：40、B 11：20です。本校から送付する受験票にA・Bを指定します。

7. 選抜結果の通知

平成23年1月27日(木) 推薦による入学者選抜の結果を、出身中学校長を通じて受験者全員に文書で通知します。電話による問い合わせには応じられません。

8. 入学確約書の提出

合格内定通知を受けた者は、平成23年2月14日(月)までに入学確約書を必ず提出してください。

9. 推薦による入学選抜に合格とならなかった者の学力検査受験

「推薦による入学者選抜」の結果、合格とならなかった者は、「学力検査による入学者選抜」を受験することができます。受験票は推薦選抜時のものを使用します。

なお、この場合、在籍中学校長は「学力検査による入学者選抜」を受験する者と同じ本校所定の調査書（学力検査用）及び「学習及び行動の記録一覧表」を平成23年2月14日(月)までに提出してください。

（2頁の5. 中学校長による選抜資料の提出 参照）

その他の出願書類は再提出する必要はありません。また、入学検定料を再度納める必要はありません。

10. 合格者の発表

合格者の受験番号を、平成23年2月25日(金)10時に本校校内に掲示します。同時に郵送で出身中学校長を通じて合格者に通知します。電話による問い合わせには応じられません。

ホームページ掲載は4頁を参照してください。

徳山工業高等専門学校入学案内

1. 本校の概要

本校は、中学校の卒業生に5年間の一貫した工業技術教育により、「豊かな教養と高度の技術や実践力を身につけた技術者を育成する」ことを目的とした高等教育機関です。卒業生には「準学士」の称号が与えられます。

また、平成15年度から本校における「設計情報工学」プログラムが、国際的に通用する技術者教育プログラムとして、日本技術者教育認定機構（JABEE）より認定されました。

JABEE認定に関する詳細は、本校ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.tokuyama.ac.jp>

2. 学習・教育目標ならびに本科における具体的到達目標

「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」

(A) 「世界に通用する」技術者をめざすために

(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること

○ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する

(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと

○ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する

○ 自らの目標を定め、外部試験を活用して英語力のステップアップを図る

(B) 「実践力のある」技術者をめざすために

(B1) 情報技術をベースに実体験を通して表現力を身につけること

○ 情報関連・実験の科目を修得する

(B2) 自主性と自立性を養うこと

○ 卒業研究の科目を修得する

(C) 「開発型」技術者をめざすために

(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること

○ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する

(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと

○ 創造系の科目を修得する

○ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う

3. 養成しようとする技術者像

本校では「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者」を養成することをめざしており、本科卒業生のめざす技術者像と到達目標を次のように定めています。

「自らの業務における技術的課題を解決できる技術者」

実地経験と具体的な業務に応じた学習により、専門分野の課題に対応できる基本的な素養をもつこと

4. 学 科 案 内

本校は、次の3学科から構成され、いずれも複合学科です。
各学科の概要は次のとおりです。

機械電気工学科

得意とする複合技術：メカトロ技術

「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術」

現代のあらゆる産業分野で活躍しているさまざまな機械は、そのほとんどがコンピュータで制御されるようになっていきます。

本学科では、このようないわゆるメカトロニクス技術に対応できる技術者の養成をめざしており、そのため、機械の分野ばかりでなく電気・制御・情報に関する知識を修得できるようにカリキュラムが編成されています。

また、実践的で応用力のある技術者を育成するため、低学年から3次元CADによる製図、コンピュータによる演習、自律型ロボットの製作などの実習、さらに各種資格試験にも関連する実践的授業が行われています。

情報電子工学科

得意とする複合技術：情報電子技術

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

近年、コンピュータ技術の応用分野は飛躍的に拡大、多様化してきており、高度情報化社会を担う情報処理技術者が求められています。

本学科では、電子工学分野と情報工学分野をバランスよく学習することにより、コンピュータのハードウェア技術及びソフトウェア技術を身につけ、これらの技術を活かして情報処理システム、通信情報システム、コンピュータ応用機器システムなどの設計・構築、更にはインターネットなどネットワークシステムの設計・構築に従事できる高度なコンピュータシステム技術者をめざします。

土木建築工学科

得意とする複合技術：社会環境整備技術

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」

人々の安心できる生活を保障する土木工学と建築学の役割は環境問題にも関係して今後、ますます重要となります。本学科はこの土木工学と建築学の複合・融合を図り、土木技術者と建築技術者、どちらにも対応できるような課程となっています。

本学科の特色は、広い知識と実践的な技術を身につけるため、コンピュータの利用や新しい計測機器による実験・実習を行っていることです。また、設計製図や卒業研究などには特に十分な時間を充てています。

一 般 科 目

一般科目は、広い視野をもったすぐれた技術者を育てるため、豊かな教養を身につけること及び専門の知識や技術を習得するための学問的基礎を養うことを目的としています。1～5年の全授業時間数の約半数がこれに充てられています。低学年の授業は、一般科目が主となりますが、学年が進むにつれて一般科目は減少し専門科目が増加します。

5. 教 育 課 程

授業科目は、各学科に共通な一般科目と各学科ごとに異なる専門科目に分かれて開設されており、所要の科目を5年間で学びます。

詳しくは15頁教育課程を参考にしてください。

6. 入学時に要する諸経費

区 分	金 額
入 学 料	84,600円
授 業 料 (注)	前期分(年額234,600円)
日本スポーツ振興センター会費	年 額
学 生 傷 害 保 険 料	5 カ 年 分
学 生 会 入 会 金	
学 生 会 費	年 額
教 科 書 代	学科により異なる
体 育 衣 等	
実 習 服 ・ 安 全 靴 等	機械電気工学科のみ
製 図 用 具, マ イ コ ン 等	
そ の 他 諸 経 費	
合 計	

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
また、高等学校等就学支援金制度の適用があります。(7.(2))

入学料及び授業料の納入について

入学料は、平成23年3月24日(木)までに納めてください。なお、納入済みの入学料は返還しません。

授業料の納入方法については、合格通知に併せて後日通知します。

7. 入学料減免及び奨学金制度

(1) 入学料免除

入学前1年以内に入学者の学費を主として負担している者が死亡した場合又は、これに準ずる特別な事情により納付が著しく困難であると認められる場合は、入学料の全額又は半額が免除されます。

また、入学料の徴収猶予制度もあります。

(2) 高等学校等就学支援金

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、学生の授業料に充てる高等学校等就学支援金を創設し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

高等学校等就学支援金制度については、高等専門学校（1～3年生が該当）も含まれており、授業料について年間118,800円が助成されます。また、保護者の所得によって、さらに加算される場合があります。

(3) 奨学金

学業、人物ともにすぐれ、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、選考のうえ日本学生支援機構その他の団体などから奨学金が貸与されます。

イ 日本学生支援機構の奨学生は、中学校在学中に予約採用された者と、入学後あらたに出願して採用される者があります。平成22年度入学生の貸与月額はおおりのとおりです。

種 類	学 年	1年～3年	4年～5年
	第 一 種 奨 学 金	自 宅	21,000円
自 宅 外		22,500円	

ロ その他 （山口県ひとづくり財団など）

8. 学 寮

(1) 施 設

学内に鉄筋4階建ての学寮「高城寮」（男子定員120名、女子定員24名（外国人留学生を含む））があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を楽しむことができます。

(2) 入 寮

入寮は書類（場合によっては面接）選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。

(3) 経 費（平成22年度の場合）

寄宿料	月額	700円
食費（1日3食1,150円）	月額	約34,500円
寮費（光熱水費等）	月額	6,000円
冷暖房機維持更新費	半期	3,000円
入寮費	入寮時	1,000円
その他に寮生会費	年額	1,500円

9. 学 生 生 活

本校では「自分で考え、行動し、しかも自分の行為に責任をもつ」という自主性の育成に教育の重点をおいています。

(1) 制服について

1～3年生は定められた制服を着用しなければなりません。

4年生以上は制服以外の服装で通学してよいが、この場合の服装は本校の学生としての品位をそこなわないものでなければなりません。

(2) 通学について

自転車通学については、許可制になっていますが、3年生以下の学生は、自動車、自動二輪車及び原動機付自転車（バイク）を運転して通学することを原則として禁止しています。また、3年生以下の学生は、原則として道路交通法に規定する運転免許の取得を禁止しています。

ただし、4年生以上の学生については、一定の条件を満たした場合にバイク等の通学を許可しています。また、卒業研究で帰宅が遅くなる場合にも、自動車等の使用を許可することがあります。

10. 各種施設・学生会活動

各種施設

学生の利用できる施設としては、野球場、陸上競技場、体育館、武道場、テニスコート、プールなどの体育関係施設及び図書館、福利厚生センター、合宿研修施設、学生食堂などがあります。

学生会活動

本校には学生全員をもって構成する学生会があり、学生生活における集団活動への積極的参加、自発的な活動による自主性、人間形成の助長を目的として活動しています。

現在活動しているクラブは次のとおりです。

(体育関係) 陸上部、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、卓球部、剣道部、水泳部、硬式野球部、サッカー部、バドミントン部、ハンドボール部、テニス部、アーチェリー部、空手部、スキー・スノーボード同好会、柔道同好会

〔中国地区及び全国の高専体育協会及び山口県高校野球連盟並びに山口県高校体育連盟に加入しています。〕

(文化関係) 美術部、音楽部、写真部、吹奏楽部、文芸部、メカトロシステム部、ニューメディア部、茶道部、英語に親しむ同好会、囲碁同好会、伝統文化に親しむ同好会、インターアクト同好会、模型同好会、園芸同好会

〔中国地区高等専門学校文化連盟に加入しています。〕

11. 卒業後の進路

年度 学科名	19年度		20年度		21年度	
	就職	進学他	就職	進学他	就職	進学他
機械電気工学科	29	16	19	18	25	18
情報電子工学科	21	20	26	16	17	20
土木建築工学科	20	22	16	28	12	28

(1) 就職状況

平成22年3月、本校第32回卒業生の求人倍率は、約16.5倍です。最近の主な就職先は次のとおりです。(平成19年～21年度卒業生)

[機械電気工学科]

旭化成ケミカルズ、宇部興産、NOK、NHKアイテック、Mテック、大阪シーリング印刷、オルガノ、カンセツ、キヤノン、キヤノンマーケティングジャパン、京セラ、協和発酵キリン、協和発酵ケミカル、協和発酵バイオ、国土交通省中国運輸局、コベルコ建機、JFEスチール、シチズンセイミツ、シマノ、シャープ、JAL航空機整備成田、ソニーイーエムシーエス、ダイキン工業、武田薬品工業、中国電力、ティーエスプレジジョン、帝人ファーマ、テルモ、デルタ工業、東京電力、東芝エレベータ、東洋自動機、東レ、トクヤマ、トヨタ自動車、西日本旅客鉄道（JR西日本）、日東電工、日本ゼオン、日本モレックス、パナソニックITS、バンダイ、日立アプライアンス、日立ハイテクノロジーズ、マツダ、三浦工業、三菱化学、三菱化学エンジニアリング、三菱重工業、三菱電機、三菱電機マイコン機器ソフトウェア、三菱レイヨン、明治乳業、森精機製作所、矢崎総業、安川エンジニアリング、安川電機、リコー

[情報電子工学科]

アイティー、旭化成ケミカルズ、アトラス情報サービス、出光興産、インフォコム西日本、宇部情報システム、エイム、SMSデータテック、エヌアイ情報システム、エヌ・ティ・ティネオメイト、オプティマ、オリンパスソフトウェアテクノロジー、オルガノ、京セラ、KDDIテクニカルエンジニアリングサービス、KOUZIRO、国際ソフトウェア、コバレントマテリアル徳山、コベルコシステム、西京銀行、サンテクノ、シャープビジネスコンピュータソフトウェア、新日鐵住金ステンレス、ストロベリーメディアアーツ、ソーバル、ソニーイーエムシーエス、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ、ダイキン工業、中国電力、テイジイエル、東京コンピュータサービス、東ソー、トクヤマ、トクヤマ情報サービス、西日本情報システム、西日本旅客鉄道（JR西日本）、日本情報通信システム、日本ゼオン、ネットワンシステムズ、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア西日本、ハイテックシステム、日立交通テクノロジー、日立情報制御ソリューションズ、富士通アドバンスドソリューションズ、富士通九州システムエンジニアリング、富士通中国システムズ、富士通山口情報、メディカルソリューション、安川情報システム、リコー販売、リョーセンエンジニアズ

[土木建築工学科]

池下設計, 一条工務店, 岩国市役所, 大阪ガス, 大林組, 鹿島クレスウエスト, 川岸工業, 関西電力, 国土交通省関東地方整備局, 五洋建設, 澤田建設, 三建設備工業, C T I ウイング, 周南市役所, 新笠戸ドック, 大鉄工業, 大和ハウス工業, 竹中工務店, 中国電力, 東京ガス, TOTOエンジニアリング, 時盛建設, トクヤマ, 長崎建設, 西日本旅客鉄道 (J R 西日本), 西日本高速道路エンジニアリング中国, 西松建設, 日立プラントテクノロジー, ハローネット, 広島市役所, 前田道路, 三菱重工業, 山口県庁

(2) 進 学

卒業後さらに勉学を続けたい人は, 高専の専攻科 (修業年限2年) 及び大学 (3年次編入学) に進学することができます。

・高専の専攻科

専攻科は現在, ほとんどの高専に設置されており, 本校にも機械制御工学専攻, 情報電子工学専攻, 環境建設工学専攻からなる専攻科が設置されています。専攻科を修了し, 一定の要件を満たした者には, 国の機関である大学評価・学位授与機構から「学士」の学位が授与されます。

・大学編入学

高専の卒業生を数多く受け入れる長岡, 豊橋両技術科学大学をはじめ, 多数の国公私立大学が編入学制度を実施しています。

本校からも下記の大学に編入学しています。

(平成19年~21年度卒業生の進学先)

[機械電気工学科]

徳山高専専攻科, 秋田大学, 大阪大学, 岡山大学, 金沢大学, 九州大学, 九州工業大学, 京都大学, 熊本大学, 神戸大学, 神戸市立大学, 東京大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学, 山口大学, 立命館大学

[情報電子工学科]

徳山高専専攻科, 岩手県立大学, 大阪大学, 岡山大学, 九州工業大学, 熊本大学, 高知工科大学, 千葉大学, 筑波大学, 電気通信大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学, 広島大学, 広島工業大学, 広島市立大学, 山口大学

[土木建築工学科]

徳山高専専攻科, 宇都宮大学, 関西外国語大学, 北九州市立大学, 九州大学, 京都造形芸術大学, 熊本大学, 神戸大学, 千葉大学, 豊橋技術科学大学, 長岡技術科学大学, 日本大学, 広島大学, 広島工業大学, 松山大学, 三重大学, 山口大学, 立命館大学